

新斎場(火葬場)の計画が進められています

～平成28年度の稼働を目指す～

現在、佐久地域では、佐久広域連合が運営する2つの斎場（高峯苑、豊里苑）において火葬が行われていますが、両施設とも老朽化が進むとともに、旧式の構造で使い勝手が悪い等の状況にあることから、佐久広域連合における協議経過に基づき、佐久市において佐久地域全体（立科町を含む11市町村）の利用が可能な新たな斎場を建設する計画が進められています。

このような中、建設候補地は中部横断自動車道佐久北ICに至近の場所であり、佐久地域全体の交通アクセスに優れ、街中である「利便性」と、周囲を豊かな緑に囲まれ故人を見送るのにふさわしい「静寂性」が両立した場所である「佐久市長土呂上北原地籍」の一面を新たな斎場の適地とし、佐久市が関係者の皆様に対して説明を重ねてきました。

その結果、昨年5月には地元区である長土呂区と佐久市との間において「斎場整備に関する覚書」が締結されるとともに、7月には隣接区である西屋敷区及び小諸市御影区から同意書が提出されました。

このことを受け、佐久市では新斎場を平成27年度末に完成させ、平成28年度に稼働させることを目指し、昨年7月以降敷地測量等の具体的な事業に着手しており、今年度末までには建築設計業者及び火葬炉設備業者が決定する予定であるなど、順調に事業が進められています。

新斎場が建設されることにより、長年利用されてきた高峯苑、豊里苑は廃止される方針であるため、佐久地域における火葬体制は大きく変わることになりますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



建設候補地位置図

- 平成23年佐久地域火葬件数（実績）：2,584件
- 平成51年佐久地域火葬件数（予測）：3,201件（ピーク時）
- 建設候補地面積：約15,000㎡
- 総事業費：約36億円（佐久地域全市町村で負担）
- 火葬炉数：8炉（火葬炉7炉、小型炉（動物炉）1炉）
- 建設スケジュール



区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
敷地測量・地質調査	→			
火葬炉選定	→			
火葬炉設計		→		
火葬炉工事			→	→
建物基本設計	→			
建物実施設計		→		
建物工事			→	→